

津波堆積物が示す 南海トラフの津波履歴, 津波拳動 (海食急崖, 斜面からの証拠)

伊良湖水道・菅島

志摩半島

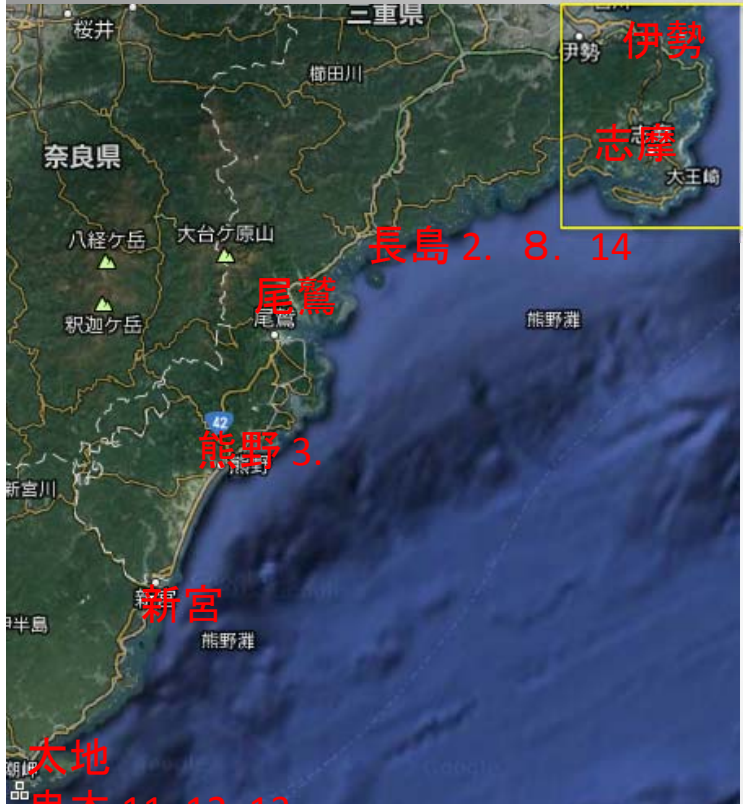
紀伊長島

熊野

潮岬・串本

平川 一臣

伊勢・志摩～熊野～串本・潮岬



大地
串本 11, 12, 13
潮岬





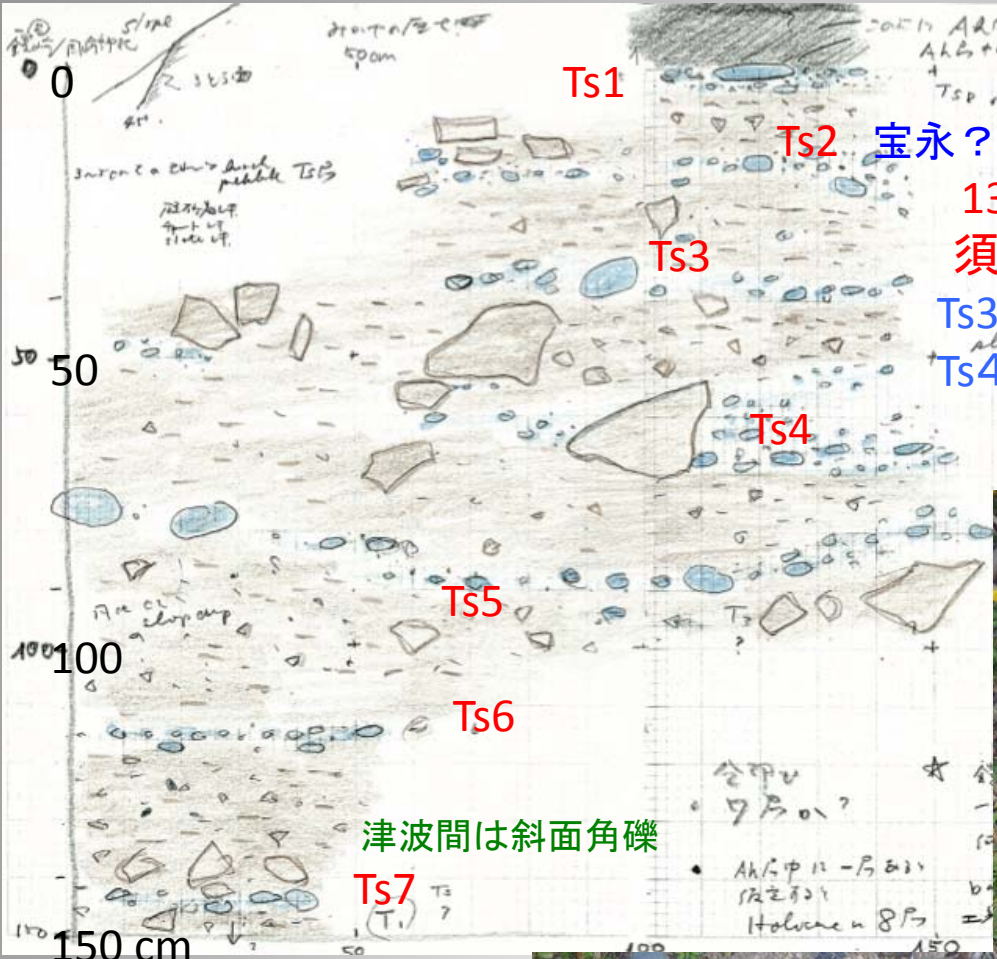
1 鎧崎, 国崎神社

灯台周辺台地上
15msl にも
beach Pebble(層)

安政の津波21m(都司1991)



1. 鎧崎・国崎神社 緩斜面の8.8 msl



宝永?

13~14 C? ~ 江戸期 かまど跡レンガ
須恵器片: 鎌倉~室町期のすり鉢

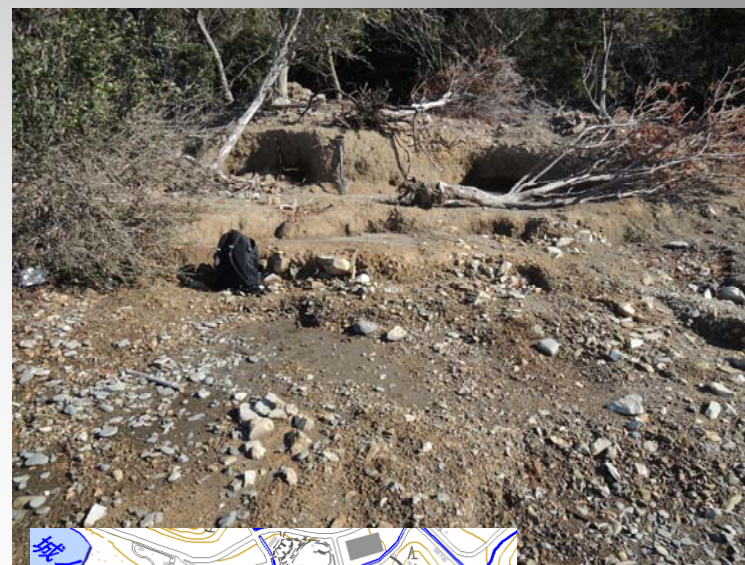
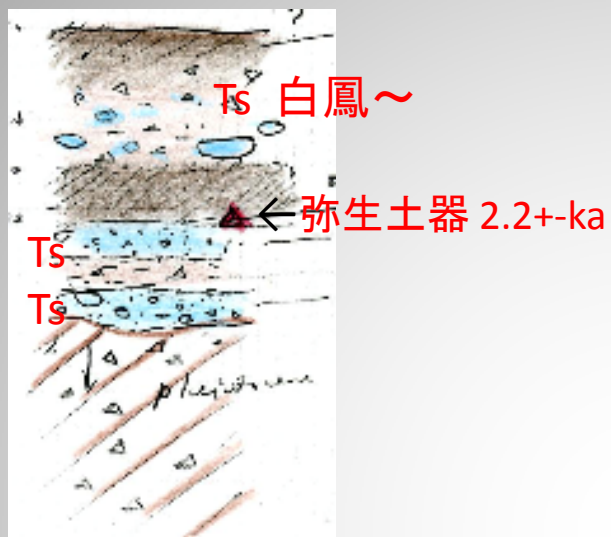
Ts3 明応?
Ts4 白鳳684 か?



2. 紀伊長島・城の浜: 弥生期(2.2ka)以前の津波, 2層

1 海食崖・斜面 5m+

3 谷底延長部4m-

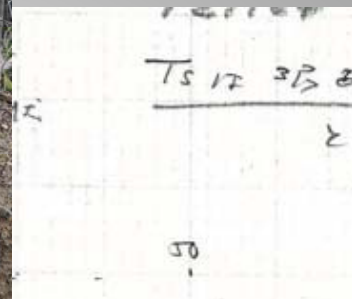
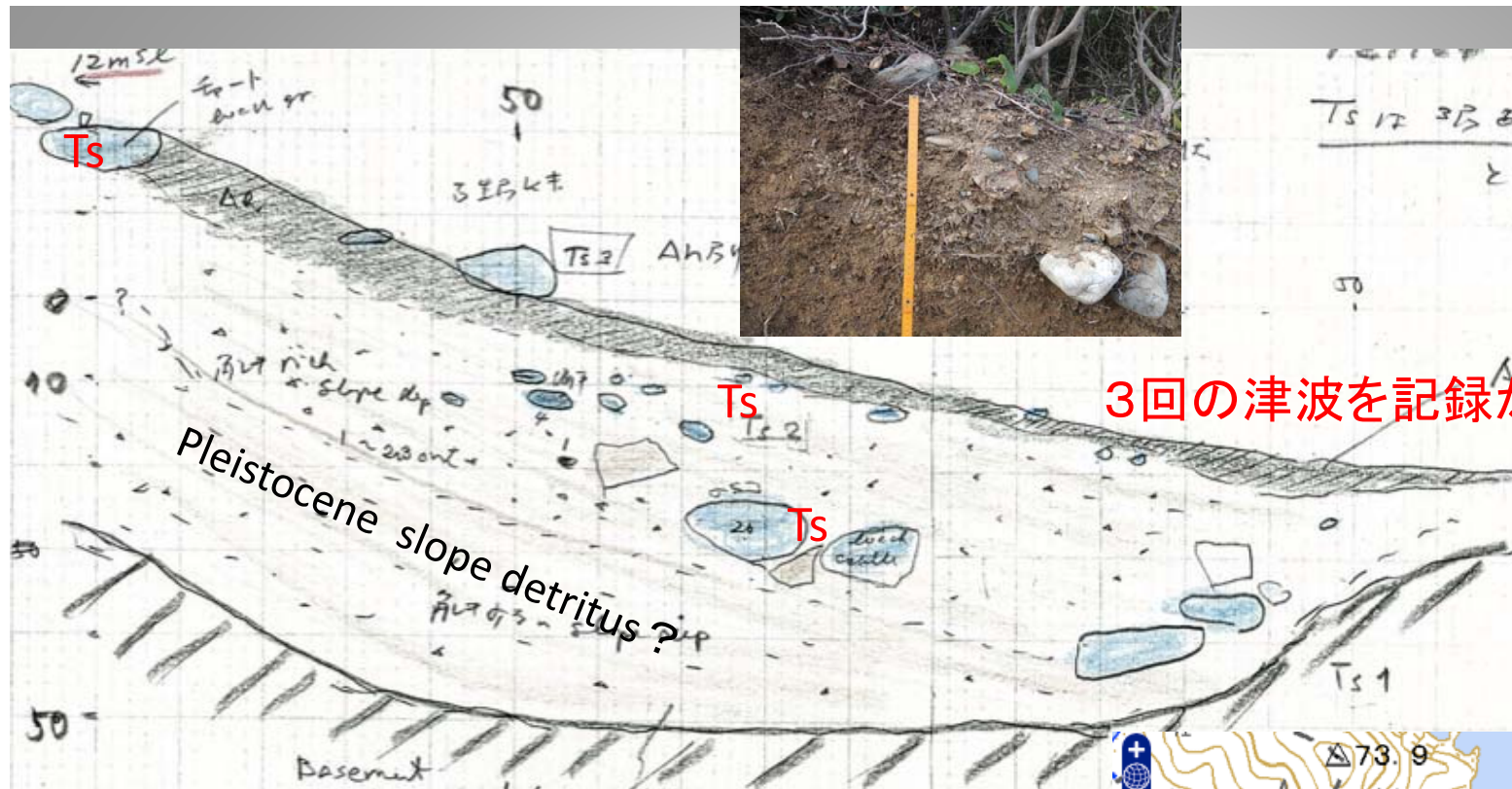


付近には隆起beachが発達(=隆起)→現在は沈降傾向(海岸の浸食・後退)

3. 熊野の津波堆積物記載：「新しくまの風土記」



4.石鏡 >12msl

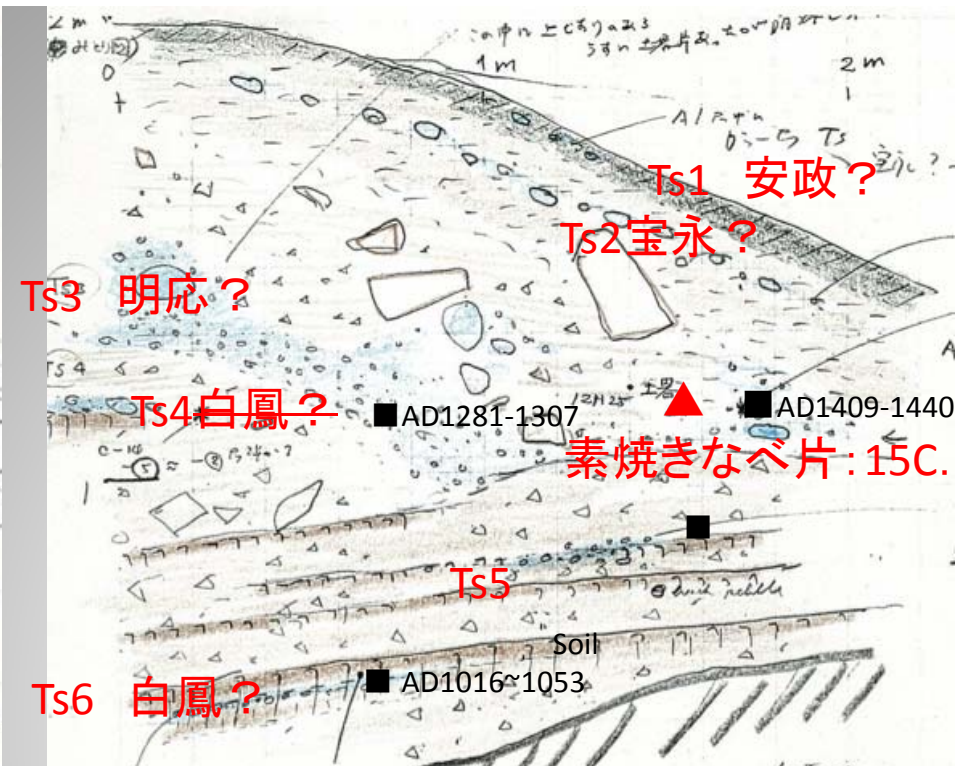
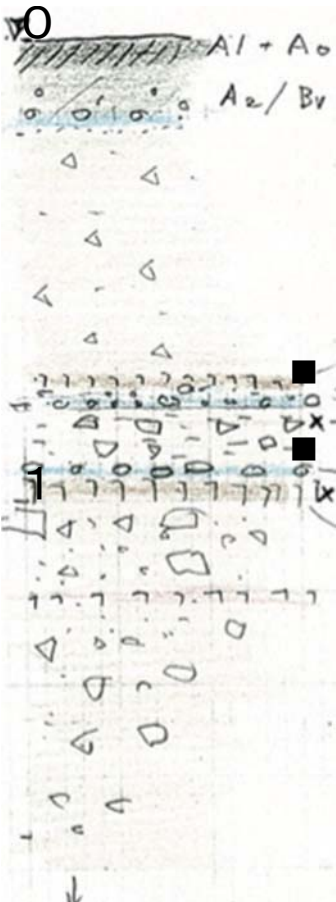


3回の津波を記録か?



5.城ノ崎

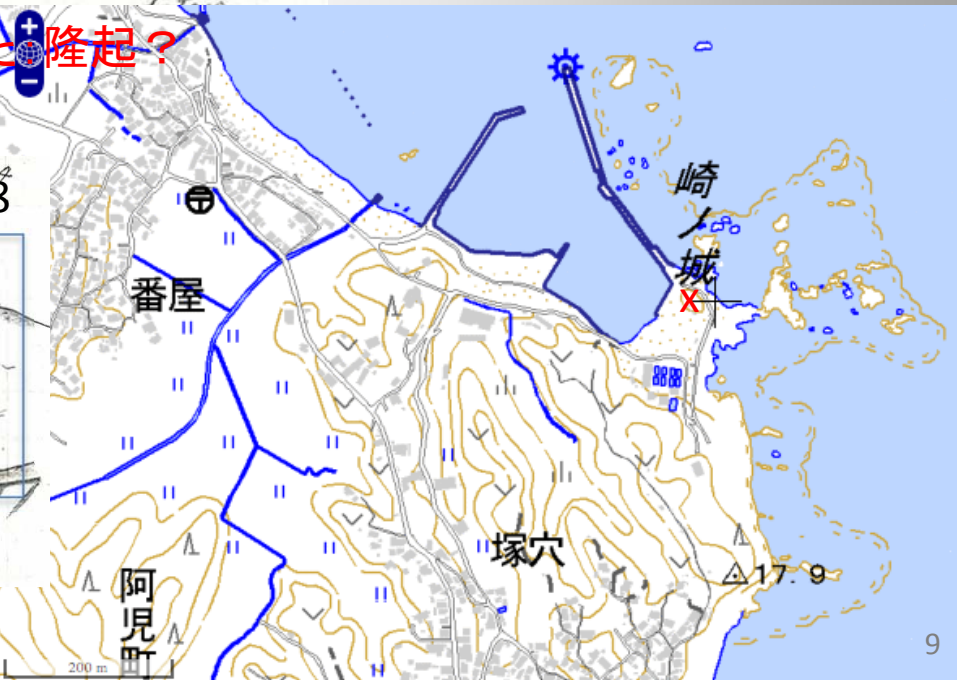
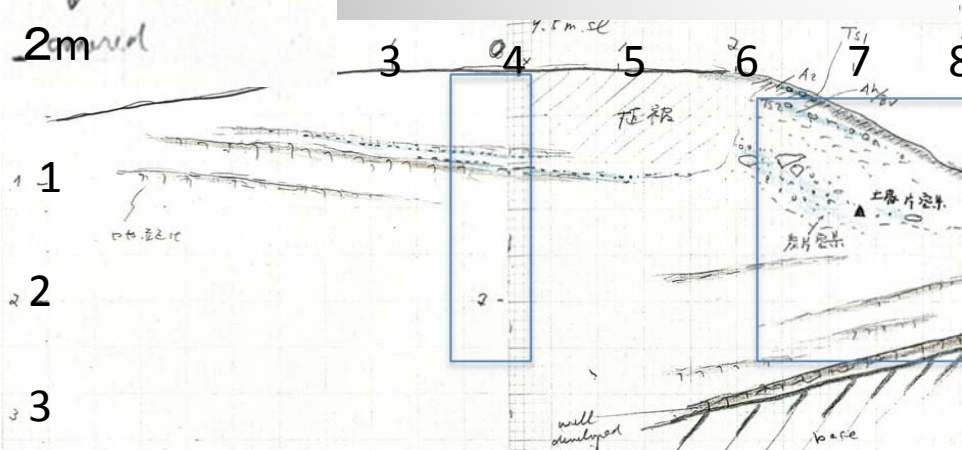




9.5 msl

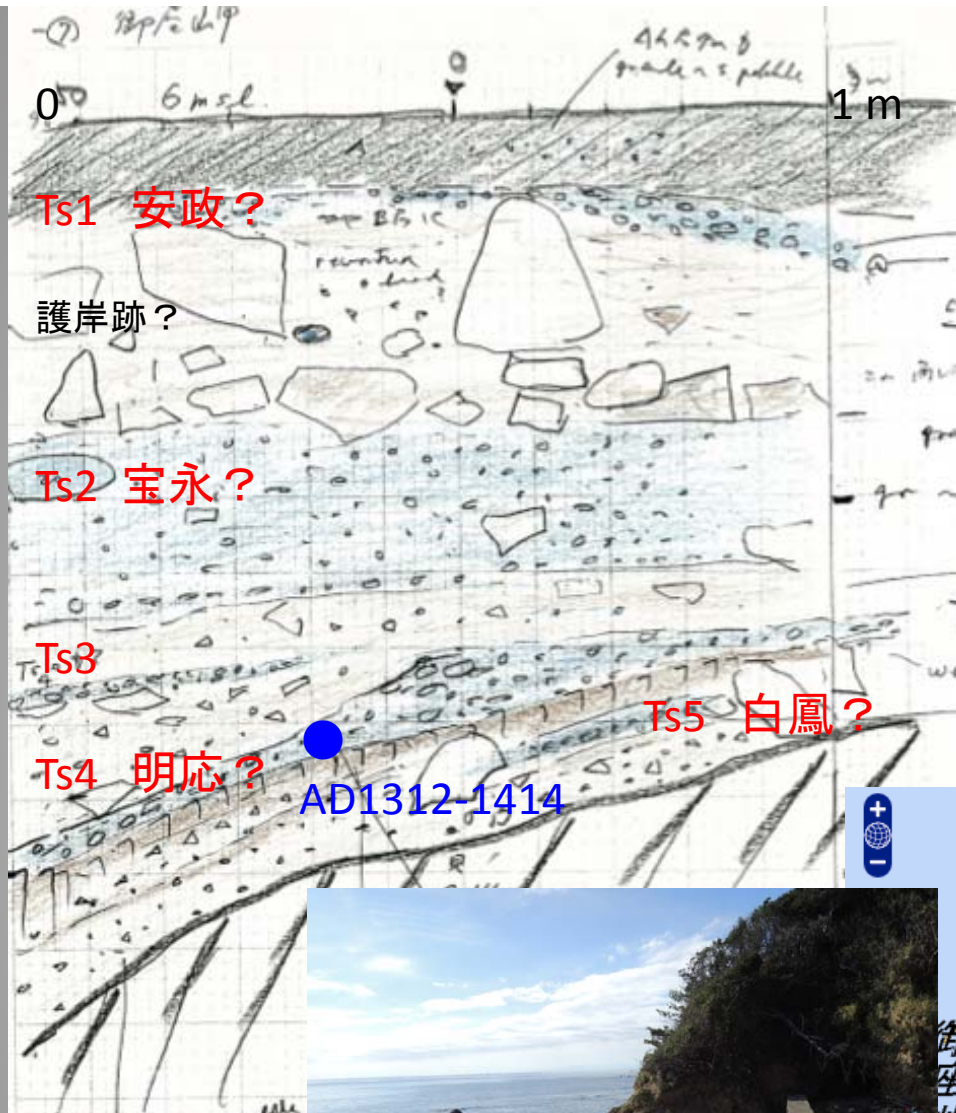
5. 城ノ崎

白鳳に先行して堆積場となった隆起？
AD/BCころか？



露頭全体のラフスケッチ

6. 御座岬6msl:



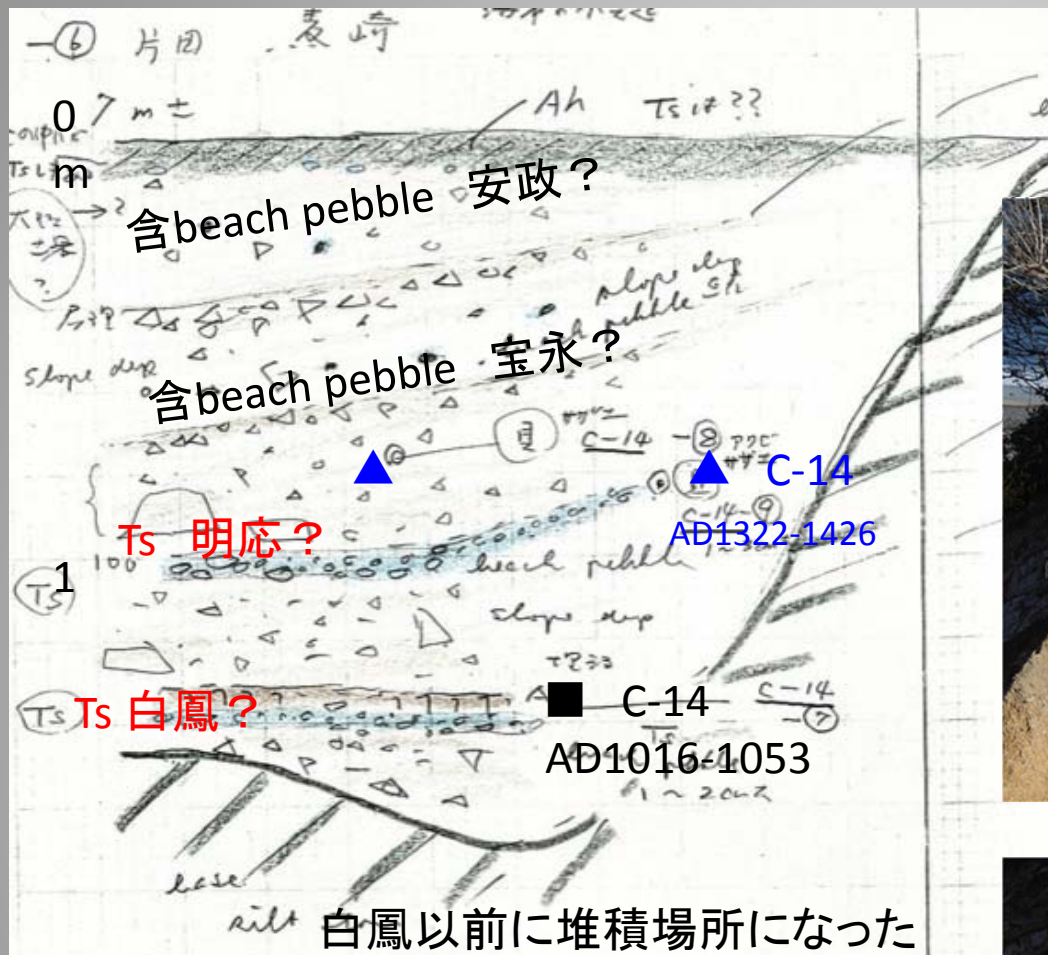
白鳳に先行して堆積場ができた: 隆起?

7. 片田麦崎

灯台付近の台地
17mでもbeach pebble

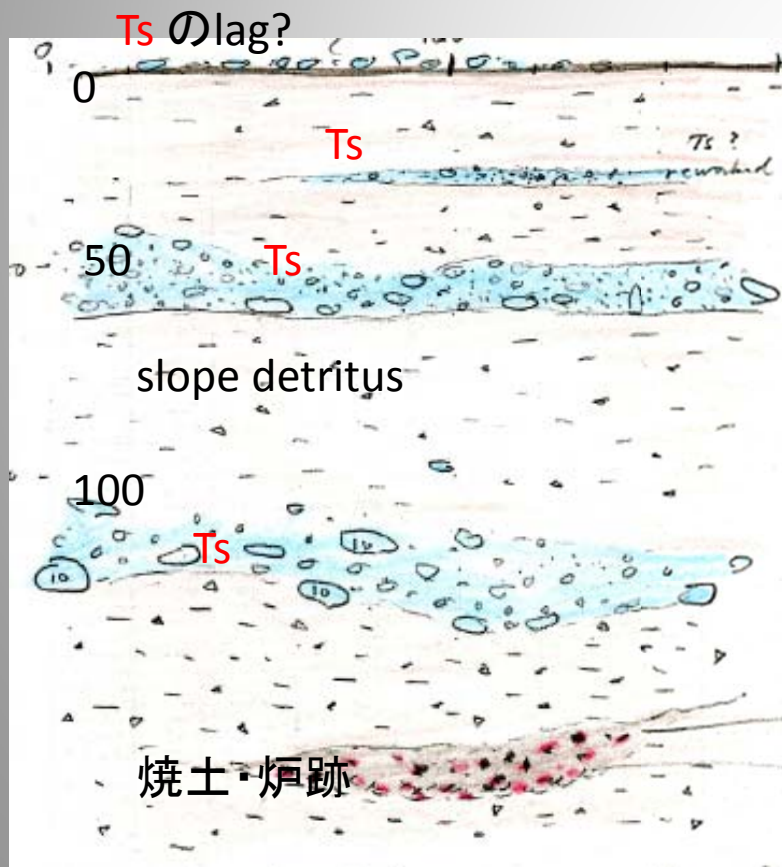


7. 片田・麦崎 7msl



露頭の反対側、層準不明(表層直下)に
戦国時代以降の土器片(肥だめ)を含む
: 宝永か安政津波の直撃?

8. 紀伊長島・黒浜海水浴場 5.5msl 斜面脚部の低崖(海食崖)



9. 安乗灯台、海食崖上の斜面

13m



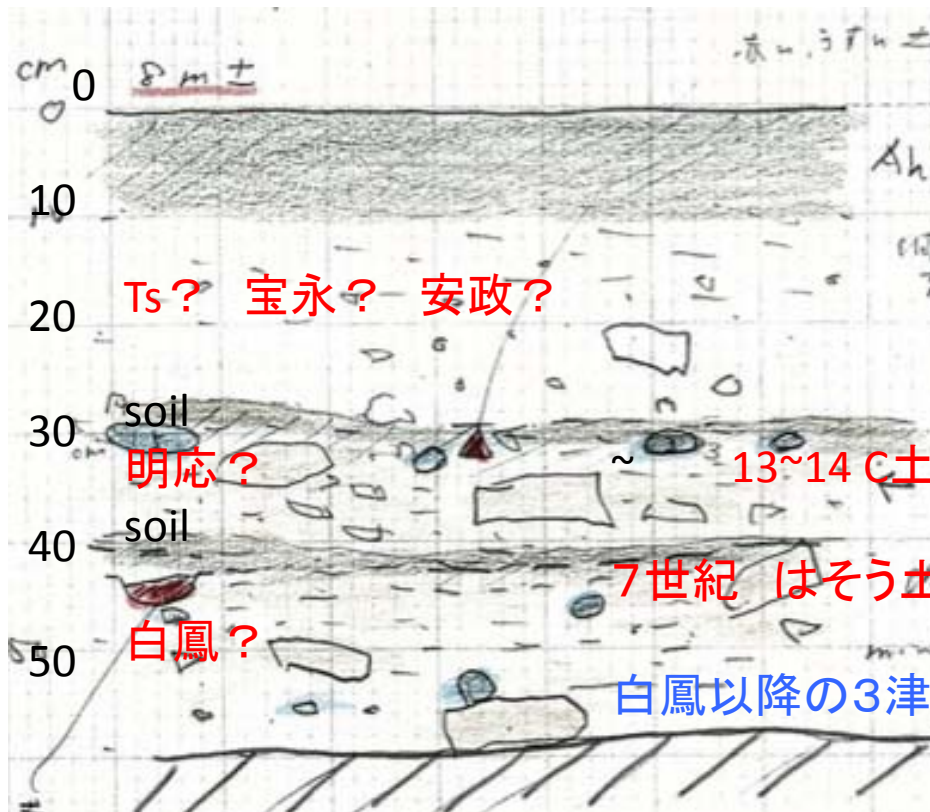
解釈:

完新世の特に巨大な津波の記録: 3個?

要年代データ

(異常)高遡上





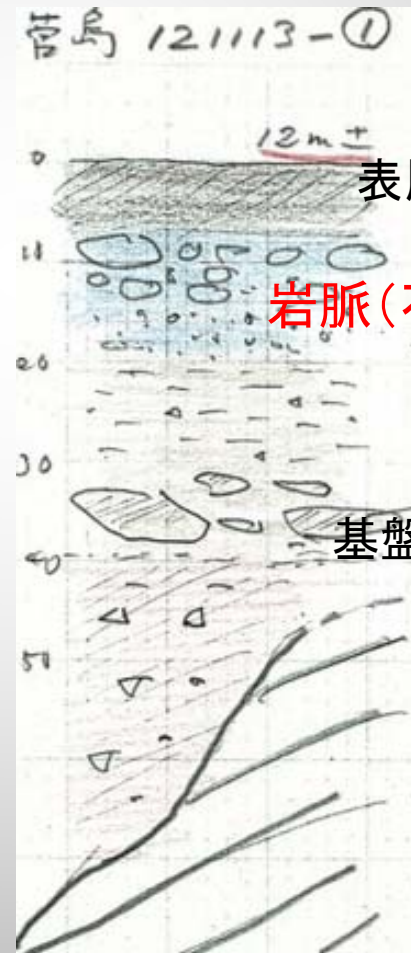
② 8 msl 10. 伊勢湾口・菅島1、2
小島, ナイフ状尾根



13~14 C土師器:伊勢なべ



伊勢湾口の津波高予測評価



伊勢湾口・菅島①

12msl

表層黒土層直下

Ts

岩脈(石英)のbeach 礫

基盤岩石風化角礫

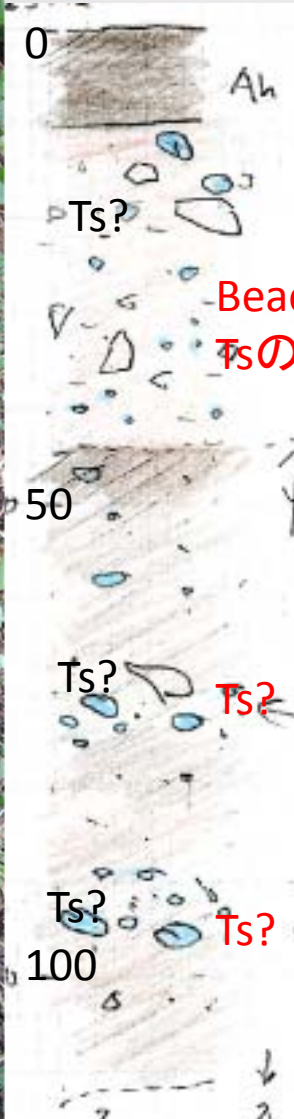
菅島③, 9msl: 伊勢湾口の津波予測評価 小半島, やせ尾根稜線



漁網用の土錘

弥生以降～いつでも

11. 潮岬, クレ岬 25msl: 異常高遡上



Beach pebble
Tsの可能性

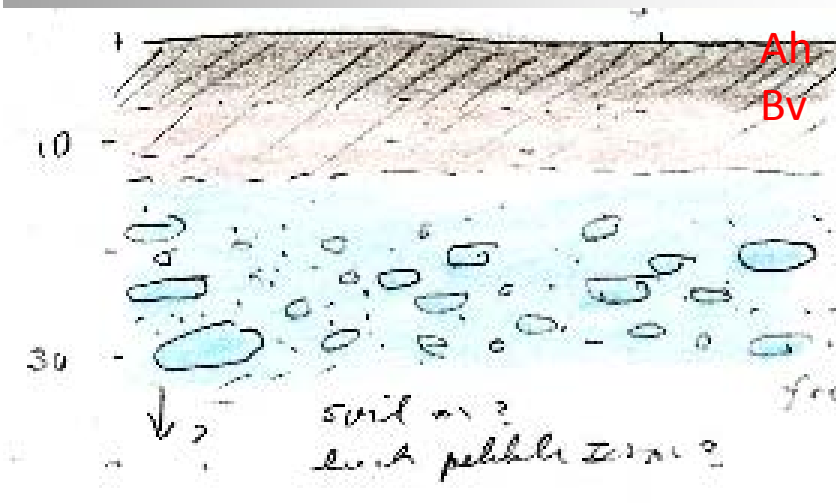


12. 太地・梶取岬

24msl.

岬突端のやせ尾根部 異常高遡上の証拠

(人為を排除できるか?)



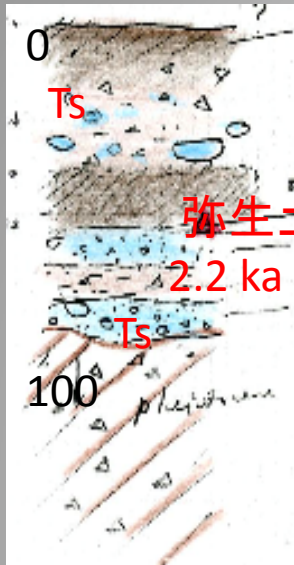
土壌の発達: 江戸期以前?



14. 紀伊長島・城の浜: サイクル検討の可能性

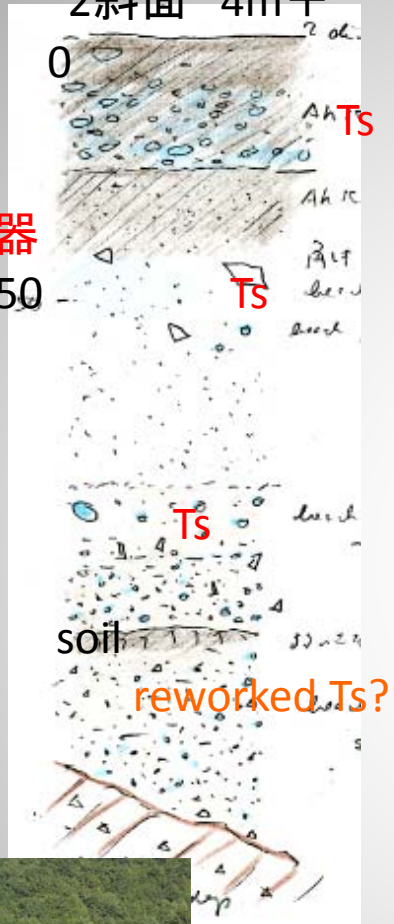
1 海食崖・斜面

5m+



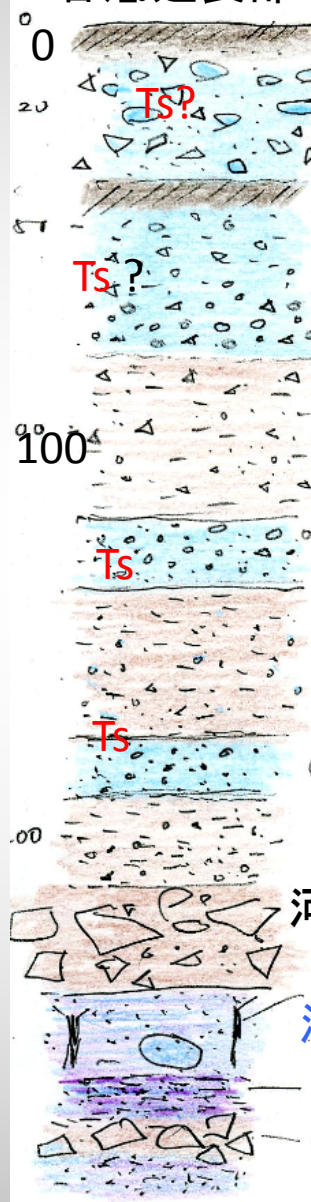
2 斜面

4m+



3 谷底延長部

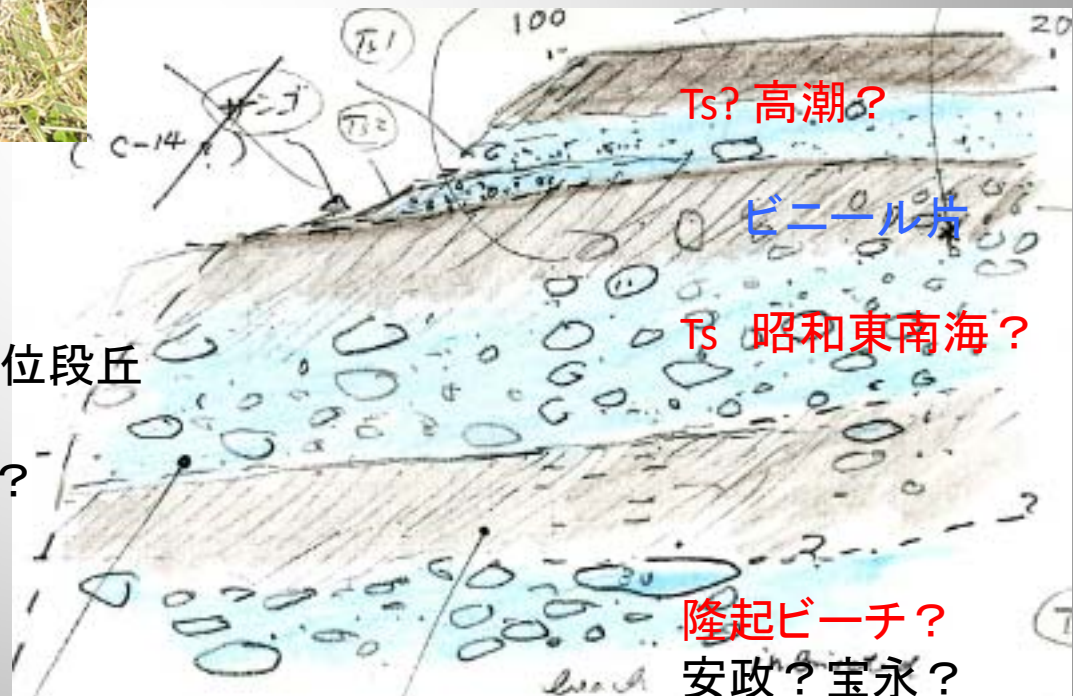
4m-



沈降 = 海食低崖後退中
枯死木



13. 潮岬・浪の浦 (最低位段丘が示す近過去のサイクル?)



近過去((安政?)の隆起ビーチ~最低位段丘



現在: 1 m+の海食低崖: 後退中=沈降?

まとめにかえて: 志摩～串本の津波堆積物検討事項

- 白鳳684以降の津波堆積物は広く保存されている

- 超巨大津波検出: 5~6,7個?/5~6000年間

宝永1707 - 白鳳684 - 2.0~2.2ka - xxx yBP - xxx yBP

白鳳は超巨大らしい

宝永は超巨大か?

弥生期以前にも2~3層

再来間隔: 1000年+-か?

(スーパー)サイクルの検出は可能か?:

鍵は隆起-沈降のくり返しを示す地形と地層(ex.串本, 長島)

- >20mslにも津波礫層が分布:

site specificな異常高遡上を想定すべき

志摩半島では, >10m+-を想定すべき